産業人クラブだより ―かけはし―

トップインタビュー

グローバル市場で勝つ 脱・自前主義で事業展開

日特エンジニアリング社長（埼玉産業人クラブ）
近藤　進茂 氏

埼玉産業人クラブの日特エンジニアリングは、コイルやモーター向けの自動巻線機メーカーとして世界トップシェアを誇る。経済産業省からグローバル展開において優秀な実績がある企業として認定されている。近藤進茂社長に事業展開などについて聞いた。（さいたま・村田光矢）

◇

―2013年に稼働した長崎事業所（長崎県大村市）の位置付けは。

「『巻く』というコア技術を使ってフィルム関係やキャパシター、リチウムイオン電池、カテーテルなどを手がけている。（取り引きしている）既存市場の隣の市場を開拓するための拠点だ。長崎事業所の従業員は約30人だが、今後50―100人に増やし、年間売上高を100億円ぐらいにしたい」

―グローバル展開で留意していることは。

「中堅・中小企業は基本的に自分の領域を核として一つの業種、業態の中の関連する企業と一体になり、事業展開しないと立ちゆかない。自前主義だけではグローバル市場で勝てない。海外拠点のトップはほとんどが現地の人材で、皆がプレーイングマネジャーだ。現地は人が強み。現地の従業員は一生懸命に仕事をしている。海外では日本人の従業員は極力、サポーターに徹している」

―現地の従業員との意思疎通は難しいですか。

「理念や思想を根付かせる必要がある。ポイントは『大和魂』。『和』を以て貴しとなす（とうとし）『絆』『おもてなし』が基本だ。我々がやっているのは『信頼』というビジネス。常に顧客の期待をフィードバックしないといけない。こういう企業の文化を、いかに現地に分配していくか。モノづくりは人づくり。企業の文化が根付けば、技術は後からついてくる」

―若手の人づくりをどう考えていますか。

「妻の手料理とレストランのシェフの料理が異なるように、我々はプロだからしっかりと仕込みをしないといけないし、段取りを詰めておかないといけない。その上で相手の立場で考えて、自分なりの〝味付け〟をする。そういう行動が自然にできないといけない。若いうちに皮膚感覚でできるようにならないと進化しない。また上司に言われるより、社外の人に言われた方が伸びる。人は実践の中で鍛えられるからだ。若いうちにいろいろな体験をして挑戦してみることも重要だ」

こんどう・のぶしげ　67年（昭42）中央大法卒。68年猪越金銭登録機入社。77年日特エンジニアリング入社、85年常務、94年専務、98年社長。福岡県出身、71歳。

産業人烈伝

電気の道、父に憧れて

堀内電気・堀内重夫社長　㊤

今後3年間で長崎県西海市に合計出力3万キロワットの太陽光発電設備を新設する計画に取り組んでいる。7月、自社運用する出力1000キロワットのメガソーラー（大規模太陽光発電所）に着工した。

私は1958年生まれで、82年に電気工事士として独り立ちした。86年に堀内電気工事店を創業し、97年に堀内電気として法人化した。電気工事業で、これまでに特別高圧電気工事や受変電設備工事を手がけてきた。このため、太陽光発電に関しては15年以上の経験がある。

私は父の勇夫が赴任していた長崎県・対馬で生まれ、5歳までそこで育った。父は九州電気工事（現九電工）の技術者で、福岡支店に在籍し、離島の配線工事を担当していた。母はその赴任先の下宿屋の娘。そこで父と母は知り合い、私が生まれたわけだ。当時はまだ社会全体が貧しかった時代。そこに電気を引く父の仕事は花形だった。その姿に憧れて同じ道を目指した。

福岡に移り、工業高校の電気科に進んだ。父は現役だったため、卒業後は紹介してもらって同じ会社に入るつもりだった。ところが第2次オイルショックとなり、採用枠がなくなった。このため、地元の電気工事店で4年間のサラリーマンを経験した後、独立した。

九電工の下請けの仕事があったので、独立直後に苦労した記憶はあまりない。配電線工事やメーター設置工事といった仕事のほか、6600ボルトや2万2000ボルトの特別高圧工事などを手がけた経験が今でも役に立っている。

当社の佐藤修専務は高校の同級生だ。偶然に再会し、創業と同時に入社してもらった。ほどなくして父が早期退職した。私が社長で父が部長というわけにもいかず、父が会長に就いた。

そのころは法人でなかったにもかかわらず、九電工は年2億―3億円の仕事を発注してくれた。ただ創業から10年ぐらいが経過し、社員数も7―8人に増えたころ、大企業のお膳立てではなく、自らの力で仕事を開拓したくなった。こうした時、あることで九電工と大げんかをしてしまい、安定収益基盤が揺らいでしまった。（全3回）

太陽光発電に関して15年以上の経験がある…と堀内社長

トピックス

群馬 蔵前産業 谷川岳の眺望に夢中

群馬産業人クラブの蔵前産業（前橋市、松下信一社長、027・261・3552）の橋本勝会長のフォトギャラリー「谷川岳フォトギャラリー」が、旅館たにがわ（群馬県みなかみ町）にオープンした。橋本会長は20歳から写真を勉強しており、写真集を出版するほどの腕前。撮りためていた力作を展示している。旅館たにがわは谷川岳を眼前に眺望できる。美しい自然と写真で、〝きっと　あなたも　谷川岳に夢中になる〟。

旅館たにがわの久保富雄社長が、橋本会長の谷川岳の写真にほれこんでギャラリー開設を打診した。橋本会長は若手の写真家の作品を展示するスペースを確保することを条件にして快諾した。

橋本会長は「若手の写真家が自分の作品を多くの人に見てもらう機会を提供したかった」と笑顔をみせる。芸術の世界では、駆け出しの若手が自分の作品を発表する機会はそうそうない。自身がのめり込んだ写真の世界で、芸術家を志している若手の才能の芽を伸ばす場にしたいという思いが込められている。

橋本会長は前橋商工会議所の「ものづくり指南塾」の塾長として、若手経営者の育成に尽力しており、多くの若手経営者から慕われている。それだけに人材育成には定評がある。経営者を育てるのと同様、芸術の分野でも手腕が生かされそうだ。

「谷川岳フォトギャラリー」がオープン（橋本会長）

小さくても本物

東京 銀座コクリコ美容外科 国内外の信頼厚く

東京産業人クラブ女性部会の銀座コクリコ美容外科（東京都中央区、木村久理子院長、03・3572・5965）は〝美と健康〟をテーマにしてレーザー脱毛、ほくろ・いぼの除去、しみ取りなどから投薬、生活習慣改善アドバイスまでの医療サービスを提供している。木村院長は鹿児島大学付属病院などで経験を積んだ内科医。それだけに患者の信頼は厚い。

研修医時代、糖尿病を患った若い女性を診察した際に「きれいになるために生活習慣を改善しましょう」と助言したところ、病気でふさぎ込んでいた女性がみるみる元気を取り戻した。「それまでは『病気を治す』との理由で改善を促していたが、目からウロコが落ちた」。美容医療に転身した背景には、こうした経験がある。

2005年に開業し、この約10年間で計8万人を治療した。このうち男性が約3割、外国人が約2割を占める。「アフリカから来院した患者もいた」。芸能関係者や経営者らも少なくない。

スキンタイプや毛質に合わせて4種類の医療用永久脱毛レーザー機器を使い分ける。美容医療に対するニーズの多様化を受け、新しい治療技術の習得にも余念がない。「クリニックは患者さんに誠実に対応し、寄り添ってこそ生き残れる。これは企業経営と同じ。外科と内科の両面で期待に応えたい」と意気込む。

レーザー脱毛機「ソプラノ」に手を置いて微笑む木村院長

9―10月の予定

【9　月】

◇5日（金）―6日（土）埼玉産業人クラブ・NITEC埼玉産学交流会「1泊研修懇親会＆親睦ゴルフコンペ」（静岡県熱海市、山木旅館、かんなみスプリングカントリークラブ）

◇9日（火）名古屋産業人クラブ「在名古屋各県事務所、学習会＆懇親会『生き残りをかけて～中小企業の挑戦』講師／岩田勝美岩田鉄工所社長」（名古屋市東区、日刊工業新聞社名古屋支社）

◇10日（水）新潟産業人クラブ「2014年度定時総会＆創立30周年記念講演会『現下の世界経済と日本』講師／古澤満宏内閣官房参与、記念懇親パーティー」（新潟市中央区、新潟グランドホテル）

◇17日（水）東京産業人クラブ「会員企業訪問シリーズ第3回　コアクラウドセンター見学会＆懇親会」（川崎市）

◇17日（水）大阪産業人クラブ青年部会「産業技術総合研究所関西センター見学会」（大阪府池田市）

◇18日（木）山形産業人クラブ「2014年度第2回ゴルフコンペ」（山形県天童市、天童カントリークラブ）

◇18日（木）九州・山口産業人クラブ「9月度工場見学会」（TOTO小倉第一工場・歴史資料館、白島国家石油備蓄基地展示館）

◇20日（土）東日本地域産業人クラブ合同「地域間交流ゴルフコンペ」（茨城県笠間市、宍戸ヒルズカントリークラブ）

◇22日（月）東京産学交流会「9月定例会『イノベーションが頻繁する別次元の産業構造を創るマッチングプラットフォーム』講師／前田佳宏Distty（ディスティ）社長」（東京都大田区、ハロー貸会議室蒲田）

◇25日（木）埼玉産業人クラブ・TDU産学交流会「2014年度通常総会」（埼玉県川越市、川越東武ホテル）

◇25日（木）栃木産業人クラブ「日本機械学会・栃木ブロックとの交流会『クルマと環境対応』講師／篠原道雄ホンダ環境安全企画室長、石井浩道エコアール社長」（宇都宮市、ホテル東日本宇都宮）

◇26日（金）大分産業人クラブ「日田市会員企業視察」（スプリングの佐竹ほか）

【10　月】

◇1日（水）埼玉産業人クラブ・NITEC埼玉産学交流会「役員会」（埼玉県川口市、十和田）

◇7日（火）大阪産業人クラブ「セミナー『経営者として知っておきたい労務対処法』講師／細谷明子ビジネススタイリスト取締役、『経営者の伝える力＝コミュニケーション力』講師／岩崎佑子岩崎企画社長」（大阪市中央区、日刊工業新聞社大阪支社）

◇8日（水）埼玉産業人クラブ「分科会『デサンの歩み』講師／藤池誠治デサン会長」（さいたま市浦和区、日刊工業新聞社さいたま総局会議室）

◇8日（水）―9日（木）名古屋産業人クラブ・岐阜産業人クラブ「新潟県産業視察」（燕三条地場産業振興センターほか）

◇9日（木）大分産業人クラブ「大分県産業科学技術センターとの意見交換会」（大分市、大分県産業科学技術センター）

◇15日（水）―17日（金）大分産業人クラブ「『モノづくりフェア2014』出展」（福岡市博多区、マリンメッセ福岡）

◇17日（金）東京産業人クラブ「会員企業訪問シリーズ第4回　山田マシンツール見学会＆懇親会」（さいたま市中央区）

◇17日（金）埼玉産業人クラブ「親睦ゴルフ大会」（埼玉県狭山市、武蔵カントリークラブ笹井コース）

◇17日（金）埼玉産業人クラブ・TDU産学交流会「学生による企業研究会（アクティブプロモーション）」（埼玉県鳩山町、東京電機大学理工学部）

◇18日（土）茨城産業人クラブ「第11回茨城産業人クラブゴルフ大会」（茨城県笠間市、宍戸ヒルズカントリークラブ）

◇20日（月）埼玉産業人クラブ「第36回埼玉産業振興懇談会」（さいたま市浦和区、浦和ロイヤルパインズホテル）

◇20日（月）―24日（金）九州・山口産業人クラブ「海外工場見学会」（フィリピン産業視察ミッション）

◇21日（火）大阪産業人クラブ「第80回ゴルフ大会」（兵庫県加東市、グランドオークゴルフクラブ）

◇22日（水）―23日（木）埼玉産業人クラブ・埼玉ビジネス研究会「じっくり訪問シリーズ・秩父」（ベンチャーウィスキー、タナカ技研、グラファイトデザイン）

◇24日（金）四国産業人クラブ「工場見学会＆懇親会」（三浦工業北条工場、井関松山製造所）

◇25日（土）四国産業人クラブ「親睦ゴルフ大会」（松山市、奥道後ゴルフクラブ）

◇30日（木）大阪産業人クラブ「セミナー『カラーコミュニケーション』講師／二宮恵理子イマジネーションカラーズ代表、『カタログ制作のポイント』講師／中田典男日本SPセンタープロデューサー」（大阪市中央区、日刊工業新聞社大阪支社）

◇31日（金）埼玉産業人クラブ・NITEC埼玉産学交流会「2014年度定時総会」（未定）

首都圏産業人クラブ合同若手・地域間交流会

〝うな重〟楽しみ絆築く

東京、埼玉、千葉、神奈川、福島の産業人クラブは7月18日、伊豆栄梅川亭（東京都台東区）で「首都圏産業人クラブ合同若手・地域間交流会」を開催した（写真）。冒頭、埼玉産業人クラブの小原歯車工業（埼玉県川口市）の小原敏治社長が「伊豆栄のうなぎを食べて、この夏も仕事に精を出して乗り切ろう」とあいさつ。各クラブ会員の若手経営者ら約20人が参加し、経営状況や地元の経済環境などについて意見を交換しつつ、うな重を楽しんだ。

同交流会は5回目。千葉産業人クラブのバインド・ギアコーポレーション（千葉県松戸市）の熊谷純一社長は全回に参加しており、「回を重ねるうちに本音を話せる場所になってきた。真の経営者ネットワークが築かれつつある。本当の力を発揮するのはこれからだ」と強調した。東京産業人クラブの山田マシンツール（東京都台東区）の山田雅英社長は2回目の参加で、「前回は参加後に知己を得た。今回も期待している」と笑顔をみせた。

一方、初参加だった神奈川産業人クラブの日立ソリューションズ・ビジネス（横浜市西区）の橋口海郎ソリューション営業本部第4営業部長は「あまり業界横断的な交流会に参加する機会がなかった。これを機にビジネスにつなげたい」と意気込んでいた。

福島産業人クラブから駆け付けたワークノーブル（福島県国見町）の松浦信雄社長は「この交流会で築いた企業間の絆を突破口にして厳しい時代を切り開こう」と締めくくった。

新潟県産業界を視察

掛川産業人クラブ PRCなど訪問

掛川産業人クラブ（相良貴史会長＝相良製作所社長）は7月17、18の両日、新潟産業人クラブの協力を得て新潟県産業界視察研修を実施した。17日はゴム成形用金型を設計・製造しているピーアールシー（PRC、新潟市北区）、工業用ミシン部品のカマの製造を手がける佐文工業所（同江南区）を訪問。18日は高級爪切り製造・販売の諏訪田製作所（新潟県三条市）、キャンプ用品メーカーのスノーピーク（同）を見学した。経営者ら8人が参加した。

PRCでは液状シリコーンゴム成形金型を製作する工場を見学。工場内は室温24度Cに保たれており、ジグボーラーや精密研削盤などが多数設置されていた。伊藤誠社長の「機械に投資しないと会社は伸びない」との持論に、参加者は感心しながら聞き入っていた。

佐文工業所では佐藤金治郎常務（新潟産業人クラブ会長）が「カマ製造で培った金属加工技術を生かし、医療分野に進出した」と紹介（写真）。参加者はチタン製の医療器具を手にして用途などを熱心に質問していた。その後の懇親会には新潟産業人クラブの会員ら13人が参加し、交流を深めた。

18日は諏訪田製作所を訪問。参加者は研磨で隙間なく爪切りの刃先を合わせる職人の技に見入っていた。またスノーピークでは、たき火台の製造工程を見学。自動車部品製造の参加者は「自社と同じ機械が設置されているが、全く違った付加価値の製品が生まれている」と感嘆していた。

工場見学と勉強会開催

多摩産業人クラブ

多摩産業人クラブ（塩野博万会長＝塩野製作所社長）は7月10日、「会員交流会　会員企業の工場見学と金属加工・切削、板金加工勉強会」を開催した。塩野製作所（東京都羽村市）、マキノ（東京都町田市）を訪問。会員企業の経営者ら11人が参加した。

塩野製作所では主力の金属加工の作業現場を見学したほか、汎用旋盤、数値制御（NC）旋盤、マシニングセンター（MC）の機能や使い方などの解説を受けた。またマキノでは板金加工の現場を見学（写真）。板金の設備や技術などの基礎知識のほか、牧野拳一郎社長からIT化による24時間操業、材料自動倉庫による即日板金仕上げの工夫などについて説明を受けた。参加者は「コスト低減への工夫は」「24時間操業の運用方法は」などと質問し、参考にしていた。

清水市長囲む懇親会を開催

埼玉産業人クラブ

埼玉産業人クラブ（増田文治会長＝マスダック社長）は7月22日、彩懐石うらわ高砂（さいたま市浦和区）で「清水勇人さいたま市長を囲む懇親会」を開いた（写真）。清水市長は七つのプロジェクトで構成する「さいたま市成長戦略」などの産業・経済政策を紹介。会員ら約30人が参加した。

清水市長は2015年に北陸新幹線や東京―上野駅間を結ぶ東北縦貫線、16年に北海道新幹線が開通して利便性が高まるため「（市が）東日本の中枢の役割を果たすことになる」と強調した。

また10月25日にさいたま新都心駅周辺で開かれる自転車ロードレース「2014ツール・ド・フランス　さいたまクリテリウム」も話題とし、「世界レベルの自転車の街に整備したい。ぜひご協力とご支援をお願いしたい」と求めた。

終始、和やかな雰囲気で、産業施策や企業を取り巻く事業環境などについて情報交換した。

親睦ゴルフ大会 原田氏が優勝

埼玉産業人クラブ（増田文治会長＝マスダック社長）は7月9日、「第8回親睦ゴルフ大会」をカントリークラブ豊岡コース（埼玉県入間市）で開いた（写真）。冒頭、増田会長が「プロの先生について3年になる。今年は結果を出さないといけないが、今日は楽しみましょう」とあいさつ。会員ら17人が参加し、熱戦を繰り広げた。

結果はミック（埼玉県日高市）の原田岳巳社長がネット71・8、グロス79で優勝に輝いた。2位にデアロイ工業（埼玉県川口市）の河村友正社長、3位にデサン（さいたま市北区）の藤池誠治会長が入賞した。

原田社長は「今日は神が降りてきたかと思うぐらいパターがボコボコ入り、すばらしい1日でした」とうれしそうに振り返った。また河村社長は約30年ぶりの参加での入賞だった。懇親会はコースの特徴や結果をさかなに盛り上がった。

苦しい経験　今につながる

山本フジコー社長が経営者賞受賞

九州・山口産業人クラブ北九州支部

世界に通じる会社を目指す…と山本社長

九州・山口産業人クラブ北九州支部のフジコー（北九州市戸畑区、山本厚生社長、093・871・3724）の山本社長が、経営者顕彰財団（福岡市博多区）の「第41回経営者賞」を受賞した。7月30日に北九州市内で祝賀会が開かれ、北橋健治市長や利島康司北九州商工会議所会頭ら210人が永年の功績をたたえた。山本社長は「私個人ではなく、従業員一同が頂いた賞だと思っている。創業事業の鋳型修理が縮小し、従業員の半数をリストラする苦しい経験が今につながっている。今後も技術開発をおろそかにせず、世界に通じる会社を目指して努力を続けたい」とあいさつし、拍手を浴びていた。

受賞は鉄の使用済みロールを芯材として再生する「CPC技術」、独自の溶射技術を生かした光触媒技術などの新規事業が評価された。2012年の「ものづくり日本大賞　特別賞」も後押しした。

経営者賞は旧福岡相互銀行（現西日本シティ銀行）創立者の故四島一二三氏の基金を基に1972年設立し、これまでに153人が受賞した。九州・山口産業人クラブ会員企業ではC&Gシステムズの山口修司会長（受賞時はコンピュータエンジニアリング社長）、西部技研（福岡県古賀市）の隈扶三郎社長、関家具（同大川市）の関文彦社長ら多くの経営者が受賞している。